

# 1. 現状と課題

調布市には2つの道路の計画があり、この計画に沿ってみちづくりを進めてきました。

## (1) 都市計画道路の整備状況

都市計画道路は、都市計画法に基づき、あらかじめ位置・幅員等が決められた広域の交通を担う都市の骨格となる道路です。調布市では、下図のとおり都市計画道路が計画決定されており、このうち未整備の路線について、概ね10年間の計画期間内で優先的に整備すべき路線（優先整備路線）をこれまでに三度定めて整備を進めてきました。

平成26年度末現在における調布市内の都市計画道路の整備率は約51%であり、その整備率は多摩の平均整備率（約59%）よりも低い状況にあります。



調布市の都市計画道路

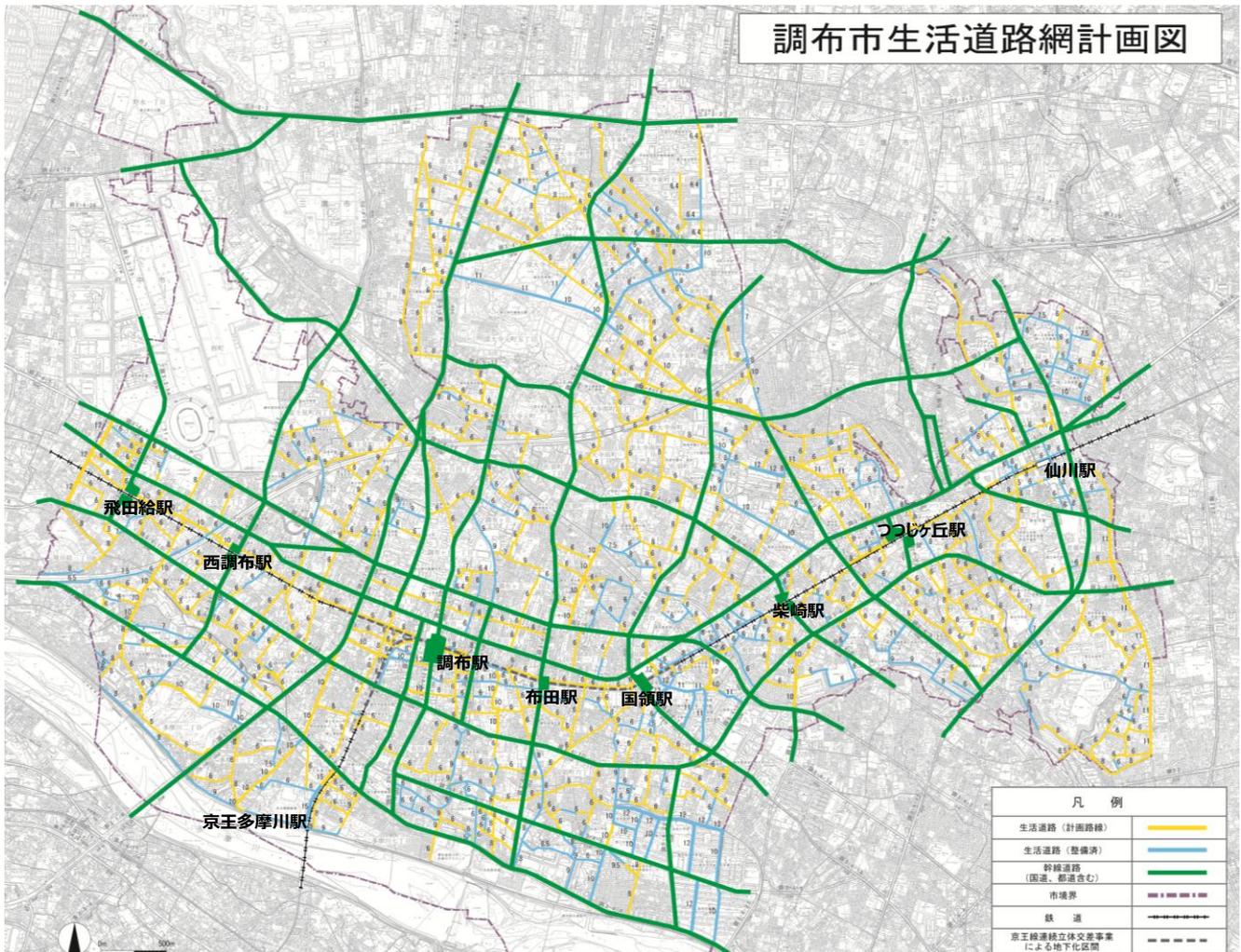
出典：調布のみちづくり 都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）パンフレット（平成26年11月、調布市）

# 1. 現状と課題

## (2) 生活道路の整備状況

生活道路は、都市計画道路を補完し、地区内の交通を担い日常生活に密接な関わりをもつ道路です。昭和 61 年に『調布市生活道路網整備計画』を策定し、最近では平成 25 年に計画の修正を行いました。

調布市では、これまでも生活道路の整備を着実に進めてきましたが、沿道建物の建替えや開発事業に合わせて整備を進めてきたことから、平成 26 年度末現在における生活道路の整備率は約 33%であり、約 7 割が未整備の状況にあります。



調布市生活道路網計画図

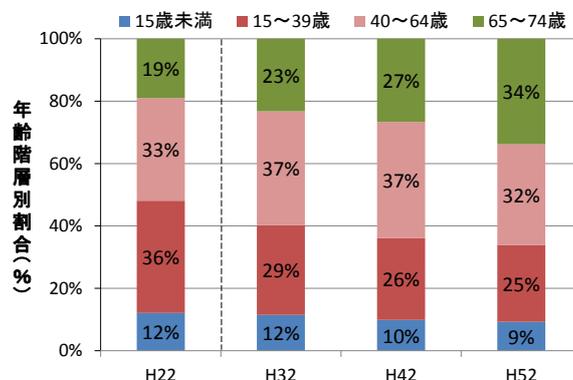
出典：調布のみちづくり～生活道路ネットワークの形成に向けて～パンフレット（平成 25 年 5 月，調布市）

### (3) 調布市を取り巻く状況

調布市では、本市を取り巻く状況から、以下の4つに取り組むことが重要と考えています。

#### ① 子供から高齢者まで多世代のニーズに合わせて暮らしやすくすることが重要です

調布市においても、今後予想される人口減少・超高齢社会の到来は社会保障関係経費の増大や、生産年齢人口の減少による地域活力の低下など、多方面にわたり大きな影響を及ぼすことが懸念されます。このため、子供から高齢者まで、多世代の人々のニーズに応じた暮らしやすいみちづくりを進めることが重要です。



調布市の世代別人口構成の推移

資料：国勢調査（平成23年，総務省），  
調布市の将来人口推計（平成26年3月，調布市）より作成

#### ② みんなが安全に暮らせるみちづくりを進めることが重要です

首都直下地震をはじめ大規模災害への備えが急務なことや、歩行者・自転車の安全性の確保に対する市民ニーズが高いことなどから、みんなが安全に暮らせるみちづくりを進めることが重要です。



生活道路の通勤時間帯の状況

#### ③ 京王線地下化に連動した魅力ある中心市街地を形成することが重要です

平成24年8月、京王線連続立体交差事業により京王線の地下化が実現しました。これを機に、駅前広場や鉄道敷地周辺への都市機能の集積や、ゆとりある空間の確保により、魅力ある中心市街地を形成することが重要です。



京王線の地下化

出典：京王電鉄 HP

#### ④ 厳しい財政状況や様々な財政需要に配慮することが重要です

調布市では、昨年来から景気回復の兆しはあるものの、地域経済や市政への波及効果と今後の見通しは、決して楽観視できるものではないと認識しています。一方、限られた財源の中で増加する社会保障関係経費への対応、公共施設の適切な維持管理、中心市街地の基盤整備など様々な財政需要が見込まれるため、これらに配慮することが重要です。